

方策	対策メニュー	規模・内容等	事業責任者	①対策の具体目標		②フォローアップ項目	③事業計画							④実施状況、課題等				
				目標	数量等		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30以降					
被害軽減対策(3・6・1)	1) 建築高さ等の事前届出制度の創設	建築物の床高を浸水の恐れのある高さ以上に規制することにより浸水被害の発生を防止	坂祝町 美濃加茂市	・建築指導要綱の作成、運用 ・継続的に広報実施、利用を呼びかける。	—	制度運用状況 広報活動状況 制度利用者数	制度創設	H25.6月より運用開始									・平成25年6月より制度運用を開始(平成26年9月末現在届出件数0件)	
	2) 浸水防止柵設置助成制度の創設	浸水被害防止のための防止柵設置費用の一部を助成する制度を新たに創設	坂祝町 美濃加茂市	・助成制度を創設、運用 ・継続的に広報実施、利用を呼びかける。	—	制度運用状況 広報活動状況 制度利用者数	制度創設	H25.4月より運用開始									・平成25年4月施行(平成26年10月末現在届出件数0件)	
	3) 既設住宅の嵩上げ工事助成制度の創設	浸水被害防止のために既設建物の嵩上げ工事費用の一部を助成する制度を新たに創設	坂祝町 美濃加茂市	・助成制度を創設、運用 ・継続的に広報実施、利用を呼びかける。	—	制度実施状況 広報活動状況 制度利用者数	制度創設	H25.11月より運用									・平成26年4月に施行(平成26年9月末現在届出件数0件)	
	4) 内水ハザードマップの作成支援	市町によるハザードマップ作成のための技術的支援	国土交通省	—	—	検討状況	必要の情報提供、技術的助言											・ハザードマップ作成主体となる市町との調整
	5) 内水ハザードマップの作成・公表	住民にわかりやすい浸水・避難に関する情報の提供	坂祝町 美濃加茂市	内水ハザードマップの浸水危険区域世帯配布	—	作成状況 広報活動状況	・検討、原稿作成											・国土交通省にて内容を検討 ・平成25年6月に浸水危険区域の世帯への配布
	6) まるごとまちごとハザードマップの作成公表	内水の氾濫等の浸水情報および避難に関する情報を住民にわかりやすく提供	坂祝町 美濃加茂市 岐阜県	必要な全ての箇所に情報表示	6箇所	実施状況	6ヶ所											・H25に実績浸水深表示板を6箇所設置
	7) 警戒避難体制の強化、災害図上訓練実施	防災対応職員の訓練、災害時要援護者を考慮した多用な災害情報伝達手段の活用等による警戒避難体制の強化	美濃加茂市	毎年1回、内水を想定した訓練の実施	—	実施状況	◎訓練実施											・平成26年度から設置場所の選定作業を実施し、順次設置 ・H25に実績浸水深表示板を5箇所設置
	8) 監視カメラ、水位センサーの設置	リアルタイムな情報発信により避難時等の判断基準に役立つ。	岐阜県 美濃加茂市	CCTVカメラの設置	1箇所	設置状況												・H25実施
	9) 水位計、量水標の維持管理	操作規則に沿った適切な操作に資するため維持管理を行う	国土交通省	実施中(継続)	—	維持管理状況												・平成26年度調査設計、平成27年度設置予定
	10) CCTVカメラ映像、河川水位等の情報配信	操作規則に沿った適切な操作に資するため維持管理を行う	国土交通省	実施中(継続)	—	維持管理状況												実施中(継続)
	11) XバンドMPレーダの導入による局地的豪雨の把握	防災・避難に役立つ情報の提供	国土交通省	実施中(継続)	—	実施状況												実施中(継続)
	12) ぎふ川と道のアラームメール、ツイッターによる情報提供	地域住民に迅速かつ的確な情報を提供	岐阜県 坂祝町 美濃加茂市	実施中(継続)	—	実施状況												実施中(継続)
	13) 防災情報の拡充	危険箇所の周知、避難時の判断基準、防災意識の向上を図る	岐阜県(国土交通省) (美濃加茂市) (坂祝町)	実施中(継続)	—	実施状況												・H25に実績浸水深表示板を5箇所設置(「19.28豪雨災害30年事業」の実施)
	14) 災害対策車(排水ポンプ車等)の派遣	浸水域への排水ポンプ車の派遣による浸水被害の軽減	国土交通省	実施中(継続)	—	実施状況												実施中(継続)
	15) 緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣	市町への緊急災害対策、情報伝達・調整役の職員の派遣	国土交通省	実施中(継続)	—	実施状況												実施中(継続)
	16) 現地情報連絡員(リエゾン)の派遣	市町への緊急災害対策、情報伝達・調整役の職員の派遣	国土交通省	実施中(継続)	—	実施状況												実施中(継続)
	17) 土地開発行為の監視	農業関係者を始め地元住民が主体となって土地利用を監視	坂祝町 美濃加茂市	農地利用に関する情報連絡体制の確立	—	土地開発状況	情報連絡体制の確立 → H26.9月に部会検討											・部会創設に向けた検討 ・農業振興地区における宅地化を抑制するため、宅地化に関する申請手続きの情報共有化。
流出抑制対策(3・6・2)	1) 貯留浸透施設の整備(各家庭)	住宅に雨水貯留施設を設置し、河川への流出を抑制する。	坂祝町 美濃加茂市	継続的な広報を実施	400戸	広報活動状況											・平成26年4月に施行(平成26年9月末現在届出件数0件)	
	2) 貯留浸透施設の整備(校庭、公園等)	河川への流出を抑制する貯留浸透施設整備の推進	美濃加茂市	助成制度の創設、運用	100戸	制度実施状況 広報活動状況	制度創設	H26.4月より運用を開始									・平成26年4月施行(平成26年10月末現在届出件数4件)	
	3) 雨水流出抑制施設の設置助成制度の創設	河川への流出抑制と地下水涵養	坂祝町 美濃加茂市	・助成制度を創設、運用 ・継続的に広報実施、利用を呼びかける。	—	制度設置状況 広報活動状況 制度利用者数	制度創設	H26.4月より運用を開始									・平成26年6月に西中工事及び山之上小調査設計発注 ・平成26年4月に施行(平成26年9月末現在届出件数0件)	
	4) 土地開発事業指導要綱による土地利用規制の強化	条例化などの土地利用規制の手段について検討をしていく。農地についても土地利用の制限を厳格化していく	坂祝町 美濃加茂市	・農業振興地域については宅地化抑制の情報連絡体制の確立。 ・農業振興地域については宅地化抑制の情報連絡体制の確立。 ・市街化区域については建築指導要綱の策定と適確な運用。	—	検討状況 検討結果	条例の検討										・平成26年4月に施行(平成26年9月末現在届出件数0件)	
河川改修	1) 加茂川沿川の竹木の伐開	加茂川沿川の竹木を伐採し、洪水時の竹木の流出による排水機場機能低下の恐れを解消する。	坂祝町 美濃加茂市 岐阜県	年1回の伐開を実施	—	実施状況 住民参加状況											・地域住民の自主的団体により河川区域内の除草、伐開及び清掃活動の実施。 ・H25に河川敷(官地内)の竹木伐開実施	
	2) 下水樋管への逆流防止ゲートの設置	加茂川へ流入する下水樋管に逆流防止弁の設置	美濃加茂市	浸水原因の2箇所への設置完了	2箇所	実施状況											・平成25年3月2箇所設置工事完了	
	3) 加茂川の河川改修(河道掘削、築堤等)	加茂川の河川改修を行う。	岐阜県	木曾川合流点～寿後川合流点迄	L=0.8km	実施状況	木曾川合流点から寿後川合流点までをH25～H26で実施										・平成25年度に用地測量の実施 ・平成25年12月より工事に着手	
	4) 木曾川本川の河川改修(樹木伐開等)	樹木伐開により水位を低下	国土交通省	樹木伐開により水位を低下	—	実施状況											・平成24年度に一部伐開を実施 ・名勝木曾川の景観に配慮した伐開計画	
	5) 加茂川排水機場のポンプ増強	10m³/s増強(計25.0m³/s)	国土交通省	排水ポンプ(2台)の増設	2台	実施状況	設計	工事着手									・平成25年度から排水機場の本体工事に着手	